

## 市内初の総合博物館がオープン あつぎ郷土博物館



市の歴史や文化、自然の新たな学びの場として、1月にオープンした「あつぎ郷土博物館」。市の貴重な遺産を後世に伝えるため、約20年にわたり文化財を収集・展示してきた「厚木市郷土資料館」に代わる市内初の博物館です。寿町から自然豊かな下川入に移転した博物館には、人形芝居や里神楽などの民俗芸能が鑑賞できるスペースを新設。展示・収蔵機能を充実させたことで、これまで公開できなかった文化財も展示できるようになりました。化石の模型作りや自然観察会など、体験型のイベントも企画し、誰もが楽しめる施設を目指します。今回は、そんなあつぎ郷土博物館の魅力を紹介いたします(4・5面に続く)。

あつぎ郷土博物館 ☎225-2515

### ◆利用案内

《所在地》下川入1366-4  
《開館時間》9～17時(受け付けは16時30分まで)  
《入館料》無料(特別展示を除く)  
《休館日》毎月最終月曜、12月29日～1月3日(バスでお越しの方)小田急線本厚木駅北口1番バス乗り場から「あつぎ郷土博物館(旧青年の家)」行きに乗車、終点下車すぐ。



### 自然歳時記

#### ● イカルチドリ ● チドリ科

イカルチドリは、全長20.5㎝と夏鳥のコチドリよりも少し大きい留鳥。生物多様性に配慮した水辺では、鳥、植物、昆虫など生物の豊かさがうかがえる/下川入、善明川の水辺で見つけた。 写真・文/吉田文雄



「ピョ、ピーユ」。か細い鳴き声がしてイカルチドリが飛んできた。夕暮れ時のこの地からは、夕焼けに染まった大山や丹沢の山々が連なり、こんなに美しい景色があったのかと改めて目を見張る。イカルチドリは少し暗くなった水辺で水生昆虫を探していたが、不意に対岸の小砂利の斜面に飛ん

で行った。するとどうだろう、今まで目で追っていた鳥の姿が急に見えなくなった。見事な保護色に感心した。源養寺の掲示板にあった「学ぶ心あれば、生きものみな教師」という言葉思い出した。イカルチドリは、この地で素晴らしい景色を見ながら多くを学び、夏には繁殖することだろう。

※あつぎ郷土博物館で、3月10日に吉田文雄さんの花や野鳥、昆虫などの撮影方法が学べる自然観察教室を開催します(詳細は4・5面へ)。

厚木市の人口 (1月1日現在) 世帯数 9万9586世帯(前月比63世帯増) 人口 22万5247人(前月比61人減) 男11万6490人・女10万8757人

## インターネット モニター募集



「広報あつぎ」や市広報番組「あつぎ元気Wave」に意見を寄せていただくモニターを募集します。

《対象》市内在住・在勤・在学の16歳以上で、Eメールの送受信とケーブルテレビやインターネットでの動画視聴ができる方

《内容》毎月1回のアンケートに、意見や感想などを回答

☎市HPから随時受け付け。



### 自分の意見を 手軽に伝えられる

インターネットモニター  
岩品 将幸さん  
(28・上依知)

モニターに登録して、広報あつぎを毎月読むようになり、市でどんなことが行われているのに関心を持つようになりました。回答も、パソコンやスマートフォンから簡単にできるので、時間を取れません。これからも、一市民として市の取り組みなどに対する率直な意見や感想を伝えていきたいです。

詳しくは 厚木市インターネットモニター 検索

☎広報課 ☎225-2043

## 県広報コンクールで 広報番組「あつぎ元気Wave」と 広報紙「広報あつぎ」が入賞

映像部門  
**最優秀賞**  
「あつぎ元気Wave」  
2018年12月16～31日放送  
相模人形芝居×JAZZ  
伝統を未来につなぐ



大成功を収めた公演の様子

広報紙部門  
**優秀賞**  
「広報あつぎ」  
2018年11月1日号



一枚写真部門  
**優秀賞**  
「広報あつぎ」  
2018年7月1日号



受賞作品は、市HPで公開しています。  
作品は 広報あつぎ 県広報コンクール 検索

☎広報課 ☎225-2040



Zoom Up

2月から新たにスタート

# ネット1119で緊急通報

聴覚や発話に障がいのある皆さんが、救急や火災時に消防署へ速やかに通報できる新サービスを始めました。スマートフォンや携帯電話の簡単なボタン操作で、素早く情報を伝達できます。これまでの電子メールなどによる通報と併せて、119番通報のバリアフリー化が進んでいます。

急病や火災の際、消防署への情報伝達は一刻を争います。これまで、聴覚や発話に障がいがあり、電話が難しい方には、電子メールやファクスを使った通報サービスを運用していました。状況を文字で伝える通報サービスは、通話が必要である一方、入力などに時間と手間がかかるという課題がありました。

## 通報にかかる時間が短縮

2月から導入した、新たな通報システム「NET119」は、インターネッ

トを使い、スマートフォンや携帯電話のボタンを押すだけで通報できます。文字入力を省けるだけでなく、GPS（衛星利用測位システム）で素早く位置情報を伝達。メールやファクスよりも速やかな出動につながります（左図参照）。詳しい病状や火事の様子は、到着するまでの時間にチャット（文字会話）形式で消防隊員が聞き取ります。メールに比べて、通報から出動までの時間が半分程度に削減できる見込みです。



あつぎ 元気Wave  
2/1~CATVで放送

ボタン操作で指令室の消防隊員に素早く情報が伝わる



## 利用にはまず登録を

やけがの状況などの必要な情報をメールに書き漏らす場合がある。通報と同時に事前に登録した住所や持病などを素早く把握できれば、スムーズに出動できる」と話します。

ネット119の利用には、障がい福祉課で事前登録が必要です。聴覚や発話に障がいのある方には、1月に登録説明会を開催。約50人が参加しました。今回は、秋ごろに開催予定です。使用の方などの説明は、障がい福祉課の窓口

地震や風水害などの災害時には、近くの人同士で協力し合う「共助」が欠かせません。支援が必要な方への正しい理解を深め、災害に備えましょう。  
障がい福祉課 ☎225-2221

## いざという時支援が必要な人のために 災害時支援のポイント

- 自己紹介をする**  
…不安にさせないよう、まずは名乗りましょう。
- 声掛けして避難誘導**  
…被害の状況が把握できない場合があります。短くゆつくりと状況を説明しましょう。
- 普段と同じ表情で接する**  
…不安や恐怖で混乱する場合があります。優しく、落ち着いて接しましょう。

支援に役立つ冊子「明日へ繋げよう災害に備えた地域づくり」を市HPに掲載しています。

## 身に着けている方がいたら…

### 視覚障がい者 ゼッケン



視覚に障がいのある方が着けます。避難所の場所や貼り紙の内容など、声を掛けて状況を教えます。

### ヘルプマーク



妊娠初期や内部障がいなど、配慮や援助が必要な方が着けます。その人に合った支援をしましょう。

## 普段から顔の見える関係づくりを

市障がい者基幹相談支援センター 精神保健福祉士 畑山 尚子さん(58)



支援に必要なのは、相手の気持ちに寄り添い、共に歩む姿勢です。そのためには、普段から本音で話し合える信頼関係が大切です。支援を受ける方も、自分のことを知ってもらう努力ができるといいですね。まずはあいさつなどで、互いに声を掛け合ひましょう。顔の見える関係が、いざという時のスムーズな支援につながります。

## 誰もが安心して暮らせるまちへ

でも随時受けられます。聴覚に障がいのある廣川泰生さん(52・恩名)は「聴覚障がい者は電話が苦手なので、通報が必要な時は近くの人に助けを求めらうことがある。夜中に体調を崩し近所に助けを求めたが気付いてもらえず、命の危険にさらされた知人もいたので不安だった。ネット119は24時間使えて安心。ぜひ登録したい」と期待を寄せます。

市は、この他にも、必要な支援の内容や緊急連絡先が書かれた「ヘルプカード」や「ヘルプマーク」を配布するなど、スムーズに支援を受けるための取り組みを展開しています。誰もが安心して、安全に暮らせるまちづくりが進んでいます。

## 知っておこう 障がいに関するマーク

障がいのある方が支援を受けやすくなるよう決められたマークです。  
障がい福祉課 ☎225-2221

### ■耳マーク



聞こえが不自由なことを表すマーク。ゆっくり話す、筆談をするなどの配慮を

### ■ほじょ犬マーク



聴導犬・盲導犬・介助犬同伴の啓発マーク。公共施設や交通機関などに表示

### ■聴覚障がい者標識



聴覚障がいのある方の運転車両に表示するマーク。掲示車両への幅寄せなどは禁止されている

### ■障がい者のための国際シンボルマーク



全ての障がい者が利用できる建築物や施設であることを示す世界共通のマーク



あなたの一票で明るい未来に

# 厚木市長選挙

2月10日告示

投票日 **2月17日(日)**

7~20時

皆さんは、まちの未来を考えたことがありますか。まちづくりは、私たち一人一人の声とともにあります。誰もが住みよいまちで在り続けるために、厚木市長選挙への投票をお願いします。

☎選挙管理委員会 ☎225-2490



あつき元気Wave  
2/1~CATVで放送

投票できるのは、2001年2月18日までに生まれ、選挙人名簿に登録されている方です。

区分	投票の可否
市外から転入	2018年11月9日までに転入手続きをした方 <b>可</b>
市内で転居	2019年1月26日までに転居手続きをした方 <b>可</b> (新住所地で)
	2019年1月27日以降に転居手続きをした方 <b>可</b> (旧住所地で)
市外へ転出	2019年2月17日までに市外に転出した方 <b>否</b> ただし、2月11~17日に転出する方は投票できる場合あり

## 投票所

投票所入場券に記載(市HPにも掲載)。当日の投票は、指定された場所で行います。

## 投票所入場券

投票所入場券は、2月9日ごろまでに世帯主へ郵送します。封筒に同世帯分(最多6人)が入っているため、各自氏名を確認して、投票所へお持ちください。万一届かない場合や紛失した場合でも、投票所で係員に申し出れば投票できます。

## 期日前投票

投票日に用事などで投票所に行けない方は、期日前投票ができます。投票所入場券の裏面の期日前投票用請求書(兼宣誓書)に必要事項を書き、期日前投票所にお持ちください。

期間	時間	場所
2月11~16日	8時30分~20時	市役所本庁舎
		依知北公民館
	9~20時	荻野運動公園
		南毛利公民館
2月12~14日	10~19時	厚木シティプラザ
2月12~14日	10~19時	神奈川工科大学
2月13日	9~20時	相川公民館
2月14日		玉川公民館
2月15日		緑ヶ丘公民館

## 選挙公報

2月13日の新聞(朝日・神奈川・産経・東京・日経・毎日・読売の朝刊)に折り込む他、2月12日ごろから公民館などの公共施設、本厚木・愛甲石田駅、郵便局、農協、スーパーマーケットなど市内約100カ所で配布します(市HPにも掲載)。

## 不在者投票

選挙の当日、仕事や旅行で市外に滞在中、病気や出産で入院中などの場合は、次の方法で不在者投票ができます。

### ①市外滞在中の方

本人が、滞在地から市選挙管理委員会へ投票用紙を請求し、交付を受けてから滞在地の選挙管理委員会で投票してください。

### ②指定病院などに入院(入所)中の方

県選挙管理委員会が指定した病院などに入院(入所)中の方は、病院などで投票できます。詳しくは、指定病院などに問い合わせてください。

## 郵便による不在者投票

身体に重度障がいがあり次の表に該当する方は、事前に郵便投票証明書の交付を受ければ自宅などで投票できます。

### 【手順】

①郵便投票証明書の交付申請=本人または代理の方が、身体障害者手帳、戦傷病者手帳、介護保険の被保険者証のいずれかを持ち、選挙管理委員会で申請書を受け取り、提出(来庁が難しい場合は要相談)

②投票用紙を請求=1~3日で発行される郵便投票証明書(即日発行不可)を添えて、2月13日までに選挙管理委員会に申請

③郵便投票=自宅に郵送で届いた投票用紙に、候補者名を自署し、2月17日(必着)までに〒243-8511選挙管理委員会に郵送

障がいなどの区分	障がいなどの程度
身体障害者手帳	両下肢・体幹・移動機能 1級または2級
	心臓・腎臓・呼吸器・直腸・小腸・ぼうこう 1級または3級
	免疫・肝臓 1~3級
戦傷病者手帳	両下肢・体幹 特別項症~第2項症
	心臓・腎臓・呼吸器・直腸・小腸・ぼうこう・肝臓 特別項症~第3項症
介護保険の被保険者証	要介護状態区分 要介護5

## 開票

日時 2月17日 20時50分~

場所 荻野運動公園体育館サブアリーナ  
投・開票速報は市HPに掲載します。



# みどころ 1 太古の厚木に思いをはせよう 海の中にあった厚木



厚木で出土した化石が見られる展示空間からスタート

床面には水の揺らぎをイメージした映像を投影し、まるで海中にいるかのような空間が楽しめる。当時の貝やサメの歯などの化石も展示。

ここが面白い!

厚木のまちが昔は海だったなんて知らなかった!床に映った光の揺れがきれいで、本当に海の中みたい!



### 自然と文化の調和のシンボルに

あつぎ郷土博物館検討委員会副委員長 門田 真人さん(74・三田)

あつぎ郷土博物館は、厚木市の真ん中を渡る中津川に近く、木々に囲まれた自然豊かな場所にあります。博物館を造るに当たって、最も大切にしたいのは「自然と文化の調和」です。周りにある自然や息づく生き物たちとまちの調和はもちろん、展示内容も、かつて厚木が海の中にあっただころから現代に至るまでの自然や生き物の様子、文化の発展が分かるよう、工夫されています。自分が住むまちにどのような

自然があるのか、自然と共存しながらまちがどう発展してきたのかを多くの方に知ってもらえたらと思います。

博物館は、歴史や文化を知るためのスタートでありゴールでもあります。ここで知り、興味を持ったことを、実際に現地まで足を運び深く学ぶきっかけにしたり、疑問に思ったことの答えを博物館で見つけたりする場所になってほしいです。

### ゆっくり博物館を見たら 思い切り体を動かそう 下川入菁莪公園

博物館の隣に、小さな子どもも楽しめる遊具がある公園を設置。近くにはベンチもあり、自然に囲まれた気持ちの良い空間で、大人ものんびり過ごせる。

# みどころ 2 見て触って学ぶ 昔の道具を体験



二ホンジカの角の大きさも体験

二宮金次郎像が背負っている「ヤセウマ」を実際に持ち上げたり、石の包丁や器に触れたりできる体験コーナー。じかに触れて歴史を体験しよう。

当時の荷物を運ぶ道具・ヤセウマは1人を超える大きさ

ここが面白い!

ヤセウマが自分の背丈ほどあって驚いた!当時の生活の一部を体験できて勉強になった。



## あつぎ郷土博物館 大解剖

1月についにオープンした厚木初の博物館に、市内の小学生たちが潜入しました!過去から現代に続く厚木の文化・歴史を展示している、新しい学び場の魅力や見どころを紹介します。

あつぎ郷土博物館 ☎225-2515

体験学習室    企画展示室    展示室  
テラス    化石展示室  
エントランスホール    事務室

私たちが潜入しました!

杉田 丸樹さん (緑ヶ丘小6年)  
谷津 太都さん (森の里小5年)  
川名 ひかりさん (依知小6年)  
佐藤 珠子さん (南毛利小5年)

基本展示室の他にも見どころたくさん  
ここもチェック!

**Check1 体験学習室**  
最大120人を収容できる体験学習室は真ん中で二つの部屋に仕切り、異なる講座や講演を同時に行うことも可能。

**Check2 化石展示室**  
白亜紀後期に生息していたトリケラトプスの頭部の化石を展示。間近でその迫力を体感できる。収蔵庫には約200個の化石が保管されている。

**Check3 企画展示室**  
展示スペースに特殊なガラスを使用し、これまでの資料館では展示できなかった貴重な文化財も展示が可能に。

博物館のメインとなる展示室のみどころを紹介!

# みどころ 3 まちの歴史や様子を学ぼう 町中の水路を再現



近世ブースでは写真と実寸大の水路で当時の町中を再現

洗濯や食器洗いなど、江戸時代に厚木宿の暮らしを支えた水路を、当時撮影した写真を活用して実寸大で再現。町中の雰囲気も体感できる。

ここが面白い!

再現された水路は実際に使われていた石も使って作られているんだって!とてもきれいに撮られた江戸時代の写真にもびっくり!



# みどころ 4 現代に続く厚木のエンターテインメント 間近で学ぶ民俗芸能



実際に使われている道具などを液晶パネルで紹介

ここが面白い!

近くで人形を見たのは初めて。体の作りや衣装が細かくてすごい!



人形が飾られている木枠は実際に使われていた舞台の一部

相模人形芝居や相模里神楽など、現在もまちに受け継がれる伝統芸能を紹介。実際に舞台上で使われた人形や神楽面などを間近で観察しよう。

### 特別企画展 過去から未来へつなぐ 子どもたちの学びや 56年前まで博物館の場所にあった小学校の歴史や人々の思いを振り返り、未来へつなぐ展示会を開催します。

《期間》4月7日まで  
《会場》あつぎ郷土博物館  
《時間》9~17時(入場は16時30分まで)  
《当日直接会場へ。☎182628》

**無料**

#### 当時を知り郷土愛を育てよう

菁莪小学校卒業生 渋谷 嘉平さん(83・下川入)

「菁莪」には「素晴らしい人材を育てる」という意味があります。閉校から50年以上が経ち、かつて私たちが学んだこの地が、これからの将来を担う子どもたちの新たな学びの場として受け継がれていくことを、大変うれしく思います。豊かな自然に囲まれた博物館で、まちの歴史や息づく生物などについて学ぶとともに、特別展で当時の生活の様子を知り、多くの子どもたちに郷土愛を育ててもらいたいです。

### 見て、聞いて、体験しよう あつぎ郷土博物館体験講座

自然に触れながら市内の歴史や文化を学べる体験講座を開催します。ぜひ家族や友人と参加してください。

あつぎ郷土博物館 ☎225-2515

■あつぎの文芸~源養寺の俳句~  
曹洞宗・源養寺にある格天井に描かれた俳句をひととき、郷土と寺の関係を学ぶ。  
《日時》2月10日 14~16時  
《定員》30人  
《当日直接会場へ。先着順。》

■門田さんと七沢石を探検する  
地学博士から七沢石の特徴や由来などを学ぶ。  
《日時》3月2日 14~16時 《定員》30人  
《2月18日までにあつぎ郷土博物館へ。抽選。☎182621》

■吉田さん流 自然さつえい術  
「広報あつぎ」の自然歳時記でおなじみ、吉田文雄さんから自然を撮影する技術を学ぶ。  
《日時》3月10日 14~16時 《定員》30人  
《2月26日までにあつぎ郷土博物館へ。抽選。☎182623》

■安西さんと野鳥を探して春の兆しを感じよう  
日本野鳥の会の会員と野鳥を観察・撮影する。  
《日時》3月9日 14~16時 《定員》40人  
《2月25日までにあつぎ郷土博物館へ。抽選。☎182622》

■ちよつきさんと早春の自然を楽しみ歩き  
「おい自然園」の園長から自然観察の技術を学ぶ。  
《日時》3月17日 14~16時 《定員》30人  
《2月25日までにあつぎ郷土博物館へ。抽選。☎182624》



命の大切さを学ぶ

毛利台小の児童が心肺蘇生法を体験



心肺蘇生法を体験する児童たち

講師を務めた救急救命士の月ヶ瀬恭子さんは「家で心肺停止に陥ることも多い。学んだことを家族にも教えてほしい」と呼び掛けました。児童たちは「1日で200人も突然心臓が止まって亡くなっていると聞き驚いた」「今日教わったので、いざという時は心肺蘇生法ができると思う」と、真剣な表情で話していました。

街のNEWS



蘇生法の体験などを通じて命の大切さを学びました。

子どもたちに命を守る方法を伝える「いのちの教育」を、毛利台小学校で開催しました。6年生80人が、心肺

蘇生法の体験などを通じて命の大切さを学びました。授業では子どもたちがマネキンを使いながら、要救助者の呼吸の確認や応援の呼び方、胸骨の圧迫方法などを学習。自動体外式除細動器(AED)の操作体験では、講師から機器の使い方やパッドを貼る位置などを教わりました。

プロ野球選手が子どもたちに授業

ベ이스ターズの選手が厚木小の児童と交流

横浜DeNAベイスターズの山崎康晃選手、石田健大選手、三嶋一輝選手、熊原健人選手が、厚木小学校で特別授業を実施しました。選手たちは、子どもたちの質問に答えたり、キャッチボールをしたりして、5・6年生316人と交流しました。



児童の質問に答える山崎選手

特別授業は、市内で自主トレーニング中の選手と交流のある保護者が呼び掛けて実現。山崎選手は「夢をかなえるためには、どんなことも諦めず地道に続けていくことが大切。それぞれの夢に向かって突き進んでほしい」と、児童たちにエールを送りました。

6年生の串田朱音さんは「活躍する選手の体験談を聞いて、私も頑張ろうという気持ちになった。自分の夢に向かって努力していきたい」と目を輝かせていました。

# 桜

## まつり

第55回 あつぎ飯山

**参加者募集**

見頃を迎えたサクラの下で、祭りの催しに参加しませんか。みこしを担いだり、ダンスを披露したり、厚木の春をみんなで楽しみましょう。

問 観光振興課 ☎ 225-12820

**①花音頭②さくら輿**  
祭り最終日のパレードでの、踊り手とみこしの担ぎ手を募集します。

**【日時】** 4月7日 10~12時  
**【会場】** 飯山庫裡橋~飯山白山森林公園桜の広場 (約600㎡)  
**【対象】** ①練習会に参加できる方 (2回目以降の方を除く)  
②高校生以上の女性20人程度  
**【謝礼】** ②1000円 (交通費含む)  
**【抽選】** ①3月22日②29日までに市観光協会 ☎ 228-1131 へ。抽選。  
※①は3月25・27日、4月4日に小鮎公民館で練習会を実施。

**ダンスコンテスト**

咲き始めたサクラの下で、自慢のダンスを披露してみませんか。

**【日時】** 3月30日 13時30分~16時30分  
**【会場】** 飯山白山森林公園桜の広場  
**【対象】** 2~30人程度のチーム25組  
**【料金】** 1組2000円

市HPにある申込書を、直接または郵送、ファクス、Eメールで2月28日(必着)までに ☎ 243-8511 観光振興課 ☎ 223-0174 ☒ 3850@city.atsugi.kanagawa.jp へ。抽選。

昨年、友達と4人でさくら輿に参加しました。みこしを担いだ経験はありませんでしたが、経験者の方が担ぎ方を教えながら先導してくれたので、安心して参加できました。思っていたよりも重かったけど、観客の皆さんの声援が温かく、とても楽しい思い出として残っています。終わった後に入らせてもらった温泉も最高でした。今年もまた参加したいと思っています。

参加者の声  
佐藤 瑞樹さん(21)



# タウンガイド

2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3	4	5	6	7	8	9
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
24	25	26	27	28			31						

☎=申し込み ☎=問い合わせ  
☎=電話番号 FAX=ファクス番号  
✉=Eメール HP=ホームページ  
📍=マイタウンクラブ(📍印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「📍」と記されたものは、申し込みもできます)  
市役所への郵便物は「〒243-8511 〇〇課」で届きます。

## アミューあつぎハンドメイド & クラフトマルシェ

2月23日、10～15時。アミューあつぎ。約20店舗によるアクセサリーや洋服、雑貨などの手作り品の販売、ワークショップなど。☎商業にぎわい課 ☎225-2834。

## あゆコロちゃん体操講座

3月4日、10～12時。あつぎ市民交流プラザ。楽しく健康になれる体操を学ぶ。市内在住の方30人。無料。📍2月1日から健康づくり課 ☎225-2201へ。先着順。📞182725

## 一緒に伸ばす赤ちゃんの発達

2月22日、10時～11時30分。保健福祉センター。子どもの発達を促す体を使った遊びがテーマの講義と親子遊び。市内在住の7カ月～歩き始め前の子どもと保護者20組。無料。📍2月4日から健康づくり課 ☎225-2597へ。先着順。📞182670

## あそぼう!まなぼう! まめの木タイム

2月25日、11～12時。岡田児童館。手遊びや親子遊び、発達に関する講座など。乳幼児と保護者20組。無料。📍当日直接会場へ。先着順。

駐車場はありません。☎療育相談センター ☎225-2252。

## 子育てアドバイザー講習会

3月6・7日(全2回)、9時20分～17時。あつぎ市民交流プラザ。市内在住で地域の子育て支援にボランティアとして関わりたい方20人。無料。託児あり(1歳以上10人。2月20日までに要予約。先着順)。後日、保育所実習(半日)を実施。全課程修了者に認定証を交付。📍2月28日までに子育て支援センター ☎225-2922へ。抽選。📞182639



## 市立病院奨学生を募集

《試験日》3月24日《職種》看護師《対象》看護師などの養成施設に在学(4月からの新1年生含む)し、卒業後、市立病院に勤務する意思がある学生。📍市立病院や市役所、本厚木・愛甲石田駅連絡所にある申込書(市立病院HPからダ

## ひな人形がお出迎え 古民家岸邸の雛まつり

入場無料



3月3日のひな祭りに合わせて、歴史ある古民家で、日本の伝統と春の訪れを感じてみませんか。

人形の多くは地域の方からの寄贈



あでやかなひな人形が部屋全体に飾られる

【日時】2月14日～3月10日 10～15時(月・火曜は休館)

【会場】古民家岸邸

■昔あそび・民話のおはなし会  
3月2・3日、10～14時。抹茶サービスあり。無料。📍当日直接会場へ。

☎あつぎ郷土博物館 ☎225-2515

ウンロード可)を、直接または郵送で、3月13日(消印有効)までに〒243-8588水引1-16-36病院総務課 ☎221-1570へ。

## 応急手当普及指導員を募集

普通救命講習会で応急手当の指導を補助する応急手当普及指導員を募集します。

《対象》応急手当指導員または応急手当普及員の資格を持ち、月1回程度(1回3時間)指導できる方若干名《期間》4月1日～2020年3月31日《謝礼》1回2000円。📍消防本部にある申込書(市HPからダウンロード可)を、2月15日までに直接、救急救命課 ☎223-9365へ。書類選考・面接あり。

## 市民ふれあいマーケットの出店者を募集

家庭で不用になった品物を販売する出店者を募集します。

《日時》3月24日(雨天中止)、9時～13時30分《会場》厚木中央公園《販売内容》日用雑貨や衣料品など(手作り品、食品、動植物は不可)《対象》市内在住の方130店舗(高校生以下は不可)《出店料》500円。📍往復ハガキの往信面に〒住所、参加者全員の氏名、電話番号、販売品目、自動車の使用の有無(1店舗1台まで)・車種・ナンバー、返信面に返信先を書き、2月15日(消印有効)までに〒243-8511環境政策課 ☎225-2749へ。1団体1応募まで。抽選。

## 高齢者福祉施設などの事業者を募集

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設の設置・運営を希望する事業者を募集します。詳しくは市HPに掲載。📍市HPや介護福祉課にある申請書を3月1～29日に介護福祉課 ☎225-2234へ。

## 小規模保育施設入所者を募集

4月開所予定の施設への入所児童を募集します。

《対象》4月1日時点で生後4カ月(一部施設は生後8週)を経過し、保護者が①開所時点で月64時間以上の就労②妊娠・出産③疾病・負傷または障がいがある④同居または長期入院している親族の介護⑤就学など一のいずれかの理由で保育できない乳幼児(2歳児クラスまで)《施設》(仮称)関口フェルマータ小規模保育園(関口)、(仮称)Ty厚木保育園(恩名)、(仮称)サンライズキッズ保育園厚木園(関口)、(仮称)あつぎエデュ保育園(寿町)。📍保育課にある申込書を2月1～28日に子どもを連れて、直接、保育課 ☎225-2231へ。

## ファミリー・サポート・センター提供会員を募集

地域で育児の手伝いをする提供会員を募集します。

《対象》市内在住で子どもの一時的な預かりや、保育施設への送迎などができる方(講習会の受講が必要)。📍市役所や公民館などにある申込書に証明写真2枚を添え、2月28日までに直接、ファミリー・サポート・センターへ。3月6・7日、9時20分～17時に講習会を実施。託児あり(1歳以上10人。2月20日までに要予約。先着順)。☎ファミリー・サポート・センター ☎225-2933。📞382010



## 第45回 厚木市 緑のまつり

### ステージ出演団体&出店者募集

美しい花に彩られたステージでパフォーマンスをする出演団体と、緑化や環境に関する日頃の活動をPRする出店者を募集します。



色鮮やかな花が会場を彩る

日時 5月11・12日 10～16時 会場 厚木中央公園

### 「花と緑のステージ」出演団体募集

《内容》コーラス、ダンス、演奏など  
《対象》3人以上の団体  
《出演時間》1団体10分以内

### ◆出店者募集

《内容》緑化・環境に関する活動のPRや体験など  
《対象》市内または近隣市にある企業や学校など

📍公園緑地課や公民館にある申込書(市HPからダウンロード可)を直接または郵送、ファクス、Eメールで3月1日(必着)までに〒243-8511公園緑地課 FAX 225-3027・✉4800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。■抽選◆書類選考あり。

☎公園緑地課 ☎225-2412

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集中

厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課 ☎225-2043

## 1月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆スノーボードの世界ランキング1位の方が厚木出身だと初めて知った。これから応援したい/30代女性 ◆厚木出身の皆さんが、各分野で大きな活躍と成果を上げている姿を知れてうれしい/70代男性 ◆市の子育てに関するさまざまな取り組みが分かって良かった/40代女性 ◆共働き子育てしやすい街ランキングで全国第3位になったことは誇らしい/70代男性 ◆リニューアルした映画館は、設備も充実したみたいなので楽しみ/20代女性

## 編集後記

あつぎ郷土博物館の建設に当たっては、極力、元々生えていた木を伐採しないよう配慮したそうです。どうしても切らなくてはならない木は、建物の壁などに生かされました。自然に囲まれた博物館は、自然豊かな厚木だからこそ実現したのだと思います。新しい博物館が、これからさらに進化していく人々の営みと、古くから残されている自然とを結びつける、まちの象徴になってほしいです/野本